

NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第124号
通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2014年3月28日発行 46,370部



親子教室は親子にとっての パラダイムシフト (=発想の転換)の場なのです

子育て支援の現場では、昔から【親子教室】というものがありません。今でも、いろんな目的の親子教室が存在しています。もちろん、どんな教室でどんなことを学ぶのかを選ぶのは、それぞれのご家庭の考え方やお子さんの状況に合わせて選んでいただくのが理想です。子育てはそれぞれの家庭で、いろんな形で行われていますが、少子化社会の中でお母さんたちは試行錯誤しながら子育てをしています。そんな、子育てを応援しサポートできるのが親子教室の場でもあると思います。

地域では、いろんな親子教室がありますが、NPO法人あっとわんが「東部子育てセンター」で実施している【こぶたんキッズ親子教室】で大切にしているのは、お母さんとお子さんが安心して参加し、子どもの発達を応援していくカリキュラムです。

親子教室は、お母さんが子育てをしている時期に、様々なかたちで参加する確率の高いものだと思います。

お母さんが安心する親子教室とは？、子どもの発達を応援する親子教室って？

親が親子教室に求めるもの

- 1 家でできない遊びを通して、子どもが人との関わり、社会性を学ぶ
- 2 自分に必要な子育て情報を得たい、知識を得たい
- 3 子育て相談をしたい



という調査結果があります。

今の子育て環境に応じた親子教室とは何か？を常に考えて、地域とお母さんたちのニーズに合わせた親子教室が増えるといいですね。

実践の中からお母さんたちの声を聴きながらできた親子教室の作り方を講座でお伝えします。

キラッと輝く親子教室の作り方～安心を生み出すヨロコビワザ～

2014年5月9日、16日、23日、30日(金) 12:00～14:00
NPO法人あっとわん事務局内 受講料:4回で20000円 定員:10名

5月 9日	子育て支援の現状と親子教室の重要性を理解する
5月 16日	カリキュラム作りに必要な知識としての子どもの心と体の発達
5月 23日	実践に生かす工夫を知る:実際の場面でのお話を交えて
5月 30日	実践に生かす支援者の資質とは:より具体的な教室運営について

お申し込みは、あっとわんのホームページの申込フォームからお願いします。

第2期ソーシャルプランナー育成支援講座始まるよ!

平成25年5月から全13回で実施しているこの講座ですが、14名の受講者と共に約1年間、一緒に学び、笑いあってきました。「社会の仕組みを知る事は子育て中の人にとって心の安心に繋がる事」を実感した講座でした。「何かを始めたい!」「いずれ、なにかやりたいなあ」「自分のこと見つめてみたい」など、参加動機はさまざまですが、仲間との出会いや話し合いは、とても有意義な時間になっています。開講中に、次回の開催要望をたくさんいただきました。とっても、ありがたく思っています。ということで、平成26年5月14日から第2期が始まります!

平成26年5月～平成27年3月まで、月に1～2回程度実施。全13回。
時間:10:00～14:00(90分×2コマ、昼休憩60分)
会場:なごみ(春日井市味美上ノ町:県立名古屋空港隣接)
受講料:39000円(分割可) 定員:15名(残数名)
お申し込みは、あっとわんのホームページの申込フォームからお願いします。

あっとわん 春秋

児童発達ルームくまたんでは、保護者さん向けの学習会や交流会などをなるべく実施しています。特に、短期の療育の場合は、毎回このような時間を設けることで、保護者さんが子どもとの関わりを知る事が出来、安心して子育てできるヒントをお伝えしています。▼そんな中、お子さんへの言葉かけや先生への伝言などでは「形容詞に気を付けてください」とお伝えしています。形容詞は人によってとり方がバラバラで、個々の価値観が発動されることになるとは、そのほか、「もっと」「できるだけ」「一生懸命」「しっかりと」「もう少し」「きちんと」「すぐに」「なるべく早く」「がんばる」「気を付ける」などなどは、話し手と受け手の「ズレ」が大きくなる単語です。▼これらは、応用行動分析の考え方に基づいて、誰でもわかる表現で行動を基本に伝えましょうとお話をしています。伝わるように伝えていないのに、伝わっていないと勝手に怒ってしまうのは、避けたいですね。「伝えるように伝える」ためには、このあたりを変えてみるだけで、随分ストレスがなくなると思います。しかも、誰でもどんな場面でも使えるコミュニケーション術です。

かわのゆみこ